



# クラブ 会報

## CLUB BULLETIN (WEEKLY)

### 鶴岡ロータリークラブ

### TSURUOKA ROTARY CLUB

### D-253

創立 1934.6.9

承認 1934.6.27

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール  
例会日 毎週火曜日 12:30~13:30  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内  
電話 0235(2)7711

会長	嶺	岸	光	吉
幹事	佐	藤	徳	衛
会報委員長	川	村	繁	男
	小	池	正	治
	西	海		一
	佐	藤		昇

No., 1086 1980.12.20 (土) (小雪) No.,24

会 場 産 業 会 館 5 階 大 ホ ー ル

#### ◆ ビジター並びにゲストの紹介

鶴岡西R.C	会 長	菅 原 年 雄 君	
〃	副 幹 事	長 南 朋 養 君	
温海R.C	会 長	菅 原 鉄 三 郎 君	
〃	幹 事	川 上 制 君	
元 会 員		金 井 勝 助 様	
〃		安 藤 定 助 様	
鶴岡ローターアクト	会 長	長 沼 庸 司 君	
〃	会 員	五 十 嵐 正 君	
米山奨学生		エスマイル・エテバリ 君	
株式会社エルサン	社 長	早 坂 剛 様	
鶴岡西R.C	事務局員	伊 藤 久 美 さん	
菅原年雄君	建 築	長 南 朋 養 君	ガソリンスタンド—鶴岡西R.C
菅原鉄三郎君	雑 貨	川 上 制 君	クリーニング—温海R.C

# TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

## 会 長 報 告

嶺 岸 光 吉 君

※池田弘君が入会後病欠しておりましたが、今日から元気な姿で出席しております。遅ればせ乍らクラブよりお見舞を差し上げました。

※会員の西海さんが腸閉塞のため張医院に入院致しました。一日も早く全快される事をお祈り致します。

### ◆ 会 長 挨拶

お晩でございます。ご来賓の皆様、会員並びにご家族の皆様、師走の忙しい中、このクリスマス家族会のために大勢の方々のご参加を頂き厚くお礼申し上げます。後程、金婚式・銀婚式のお祝いを受けられる方々は偕老同穴のちぎりを結ばれて50年、25年間の仙寿の無窮を心からお祝い申し上げます。

私が、今年度のクラブ会長として奉仕の機会を与えられた嶺岸でございます。私は年度の目標の一つに会員・家族の親睦と友情を深め合う機会を作る事を大きな目標にかかげました。これが、クラブの奉仕活動につながる基本であると私は思います。

今年度R.I会長 ロルフ・J・クラリッヒ氏は、今年度のテーマの中でロータリーを時計にたとえました。（時間を捧げよう 奉仕のために）その実践について深い感銘と、我々に強い動機を与えてくれました。その時計の針も刻々と刻まれ、今年もあと幾日もなく暮れようとしております。半年間のクラブの運営につきましてもは各会員の皆様から奉仕と時間を捧げていただき、活力ある奉仕活動に対して皆様に心から感謝と敬意を表します。

五大奉仕部門のクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の各委員会は計画達成も果たされております。又、来年度1月18日にオーストラリアから交換学生の受入れがあります。又、5月上旬には台湾の台中港区R.Cとの統盟式と10周年記念行事もあります。5月17日には親睦委員会の企画で最上川ライン舟下り家族会も予定されております。これの行事につきましても、会員・ご家族多数のご参加を賜われますようお願い申し上げます。

今日の家族会の設営につきましてもは親睦委員会、S.A.Aの皆さん、クリスマス家族会の担当委員の高橋正太郎さん等のご努力に対して厚くお礼申し上げます。

夜長のひとときを充分にご歓談下さいませようお願い申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。

## 幹 事 報 告

佐 藤 衛 君

株式会社 荘内日報社 取締役広告部長 佐藤陸男さんの職業分類は新聞発行でございますが、この方が新会員として推せんされ、所定の手続きを終わりましたので、今日会員の皆さんに氏名を発表致します。

もし入会に反対される方がありましたら書面で10日以内に幹事宛ご送付いただきたいと思ひます。

### ◆ 金 婚 式 お 祝 い (50年)

早 坂 徳 治 君 S 5.10.26  
保 江 様

### ◆ 銀 婚 式 お 祝 い (25年)

野 村 敏 行 君 S30. 2.25  
初 枝 様  
坂 垣 俊 次 君 S30. 5. 8  
喜 美 子 様  
池 田 昭 太 郎 君 S26. 5.30  
保 子 様  
池 田 弘 君 S19. 5.15  
絢 子 様

## 出 席 報 告

本日の出席	会 員 数	70名	欠 席 者	中村(真)君、飯白君、金沢君、諸橋君、中江君、西海君、佐藤(元)君、鈴木(弥)木、高橋(良)君、玉城君、津田君、富樫君、上野君
	出 席 数	57名		
	出 席 率	81.43%		

前回の出席	前回出席率	85.71%	メ ア ッ ク ブ	秋野君、斎藤(栄)君、菅原(辰)君 一鶴岡西R.C
	修正出席数	63名		
	確定出席率	90.00%		

# クリスマス家族会

出席者 ビジター 4名、ゲスト 7名、会員 57名、家族 52名

司会 親睦活動委員会 高橋 正太郎君

(1) 開会の挨拶 会長エレクト 新穂 光一郎君

(2) 親睦活動委員長挨拶 佐藤 忠君

開 宴

(3) 乾 杯 ガバナーノミニー 石黒 慶之助君

(4) サンタクロースから子供にプレゼント

(5) ロータリーソング（手に手つないで）

(6) 閉 会



クリスマス家族会風景

## ◆ 会報委員会より

去る11月11日の例会で、張紹淵君の米山財団週間のスピーチに対して、三井徹君から補足として次のような原稿が寄せられましたのでご紹介します。

三井君並びに同君のスピーチの一層の理解の為に資料を提供して下さった玉城俊一君に深甚なる謝意を捧げます。

## ◆ 関東大震災と日本のロータリー

寄稿先日の米山財団週間（10月7日）のスピーチの補足として

三井 徹 君

日本で初めてロータリークラブ（R.C）が誕生したのは東京R.Cで、1920年（大正9年）登録番号855、チャーターメンバー28名、次が大阪R.Cで1922年（大正11年）登録1,349、チャーターメンバー25名。

関東大震災が起ったのが1923年9月1日（大正12年）である。この災害に対してR.I会長の見舞電報と共に2万5千ドルの見舞金が大阪R.Cを通して送られて来た。次いでシカゴR.C1千5百ドル、サンフランシスコR.C1千ドル、ニューヨークR.C1千ドル、その他米・英・加など各国503R.Cからも義捐金を送られて、総計8万9千ドルに達した。そのほかに多数の救援物資が送られて来た。

又、東洋に在った米国艦隊が災害発生後60時間以内に米国政府、赤十字の救援物資を横浜港に揚陸した。

この救援活動に対して、日本国民は非常に感激した。当時は尚封建的な気風が強い日本の社会情勢の中ではロータリーは非常に育ちにくかったが、この震災救援がその後の日本のロータリー発展の一つの礎石になっていると考えられる。

この義捐金について、尚検討してみると、大震災の被害総額は46億円といわれている。義捐金約9万ドルとすれば当時の円換算で23万6千円となる。46億円の2千分の1に当たる。又当時の世界のロータリーはR.C数1,500弱、会員数7,200名弱である。これ等の数字はよく考えてみると驚くべき価値を持っていると考えられる。

最近、世界中の災害を受けた人々に対する日本のロータリーの対応が活発ではないように思われるが、如何。

この義捐金の価値を知りたくて、荘内銀行頭取の玉城君に質問申し上げてあったところ、別表のような換算方法を頂いたことに対して深く感謝申し上げる。非常に興味深いものである。R.Iからの2万5千ドルは現在の日本円で約1億円になる。

◎大正12年ごろの25,000ドルの現在価値について

玉城俊一君提供

① 物価上昇率について

消費者物価については適当な資料がなく、また卸売物価についても544倍という数字があるものの、あまりにも実感とかけ離れて居りますので、米、味噌等現物の値段比較でみますと

	大正12年	昭和54年
米 10kg	2円79銭	4,076円(1,460倍)
味噌 1貫目	83銭	1,084円(1,306倍)

となって居り、物価上昇率は1,300~1,400倍といったところが実感と合った数字ではないでしょうか。(以上富士銀行調べ)

② 円の対ドル相場について

荒木信義著「円の知識」によれば大正12年12月、関東大震災後の円の対ドル相場は

$$100円 = 38ドル台 (81.00 \div 2円63銭) \textcircled{㊸}$$

であったそうですから、25,000弗の当時の円換算額は

$$2円63銭 \times 25,000弗 = 65,750円$$

となります。

㊸ 大正12年前半には100円=42ドル台であったものが金本位制復帰の遅延と同年9月の関東大震災のため円が急落したものとされます。

③ 25,000弗の現在価値について

以上①、②から大正12年頃の25,000弗=65,750円を現在の貨幣価値に換算してみますと

$$65,750円 \times 1300 \sim 1400 \div 85 \sim 92 \text{百万円}$$

つまり9千万円前後のお金に匹敵するといえるのではないのでしょうか。